

E S D 公開授業（第2回富山ESD講座） （持続発展教育）

1 日 時 平成21年10月10日（土） 8:40～12:00

2 会 場 富山市立中央小学校
（ユネスコスクール加盟校）



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

ESDとは、わたしたちと世界中の人々・将来世代の人々が生きていける未来をどうつくっていくかを、学校や家庭・地域・国・世界を舞台に、みんなで調べたり考えたり、意見を出し合ったりしながら行動していける子どもやおとなになるための学習です。

『ESD教材活用ガイド』（ACCU）より

3 日 程

8:20 8:40 9:25 9:35 10:20 10:40 12:00

受付	公開授業Ⅰ (1・3・5年)	休憩	公開授業Ⅱ (2・4・6年)	移動 休憩	全体研修会 「ESD入門」 鈴木 克徳 先生 「公開授業について」 松本 謙一 先生
----	-------------------	----	-------------------	----------	--

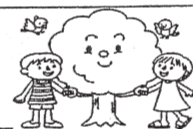
4 公開授業

中央小学校ESDテーマ

自然にやさしい

人にやさしい

地球にやさしい



○ 公開授業Ⅰ（8:40～9:25）

学年・組	教科・領域	単 元 名	授業者	授業会場
1年1組	生活科	つくってあそぼう ～牛乳パックうちゅうせん～	瀬山 陽子	4階 プール多目的広場
1年2組	国語科	しらせたいな、見せたいな	藤井 洋子	1階 教室
3年1組	総合的な学習の時間	発見！発信！中央小たんけんたい	岩井真利子	2階 教室
3年2組	総合的な学習の時間	世界わくわく大発見ー買い物から見えてくる世界ー	堀井 良徳	2階 教室
5年1組	総合的な学習の時間	食の向こうに見える世界ー食の安全ー	伏間 三晃	3階 教室
5年2組	総合的な学習の時間	食の向こうに見える世界ー人にやさしい 地球にやさしい 米づくりー	中田 博子	3階 5年多目的教室

○ 公開授業Ⅱ (9:35～10:20)

学年・組	教科・領域	単 元 名	授業者	授業会場
2年1組	国語科	生き物のくらしをのぞいてみよう ～サンゴの海の生き物たち～	堀 るみ子	2階 教 室
2年2組	生活科	わたしのまち 大すき	大崎 智子	2階 教 室
4年1組	総合的な学習の時間	地球にやさしいTOYAMAに！～レッツゴー！中央エコキッズ～ 「環境チャレンジ10の取り組みより」	深井 美和	3階 教 室
4年2組	総合的な学習の時間	地球にやさしいTOYAMAに！～レッツゴー！中央エコキッズ～ 「エコフェスティバル in 中央に向けて」	中村真知子	3階 教 室
6年1組	総合的な学習の時間	世界の12歳調査隊 ～世界の子どもたちは今！～ 「今、自分たちにできること」	井端 博之	3階 教 室
6年2組	総合的な学習の時間	世界の12歳調査隊 ～世界の子どもたちは今！～ 「カンボジアに学校をつくろう」	小島佳奈子	3階 教 室

5 全体研修会 (10:40～12:00)

会場 2階 ランチルーム

- | | | |
|------------------|-----------------------------------|----------|
| ○ 講話「ESD入門」 | 金沢大学 フロンティアサイエンス機構特任教授
ESD-J理事 | 鈴木 克徳 先生 |
| ○ 指導助言「公開授業について」 | 富山大学人間発達科学部教授 | 松本 謙一 先生 |

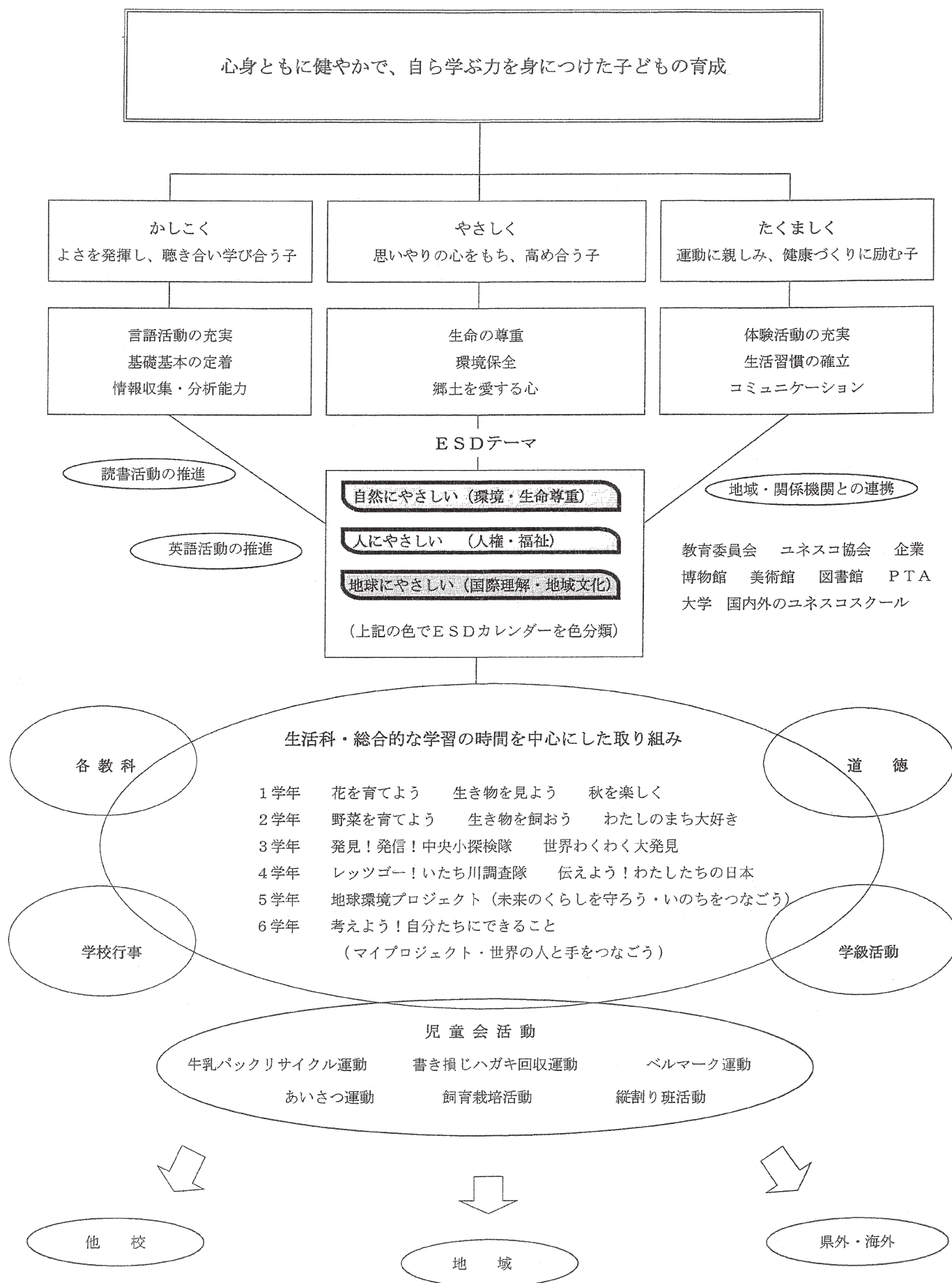
富山市立中央小学校

〒930-0052 富山市五番町4-35

Tel 076-421-6490 Fax 076-421-5664

E-mail toyama-chuo-es@tym.ed.jp URL: <http://www.tym.ed.jp/sc105>

学 校 教 育 目 標



- 1 教科(領域)・単元名
生活科 「つくってあそぼう～牛乳パックうちゅうせん～」
- 2 単元の見目標
 - ・ 自分の願いに合った牛乳パックうちゅうせんを工夫して作ったり、遊んだりする。
 - ・ 自分で作った牛乳パックうちゅうせんルールや約束を決めて遊び方を工夫し、友達と遊ぶ楽しさに気付くことができる。
- 3 単元について



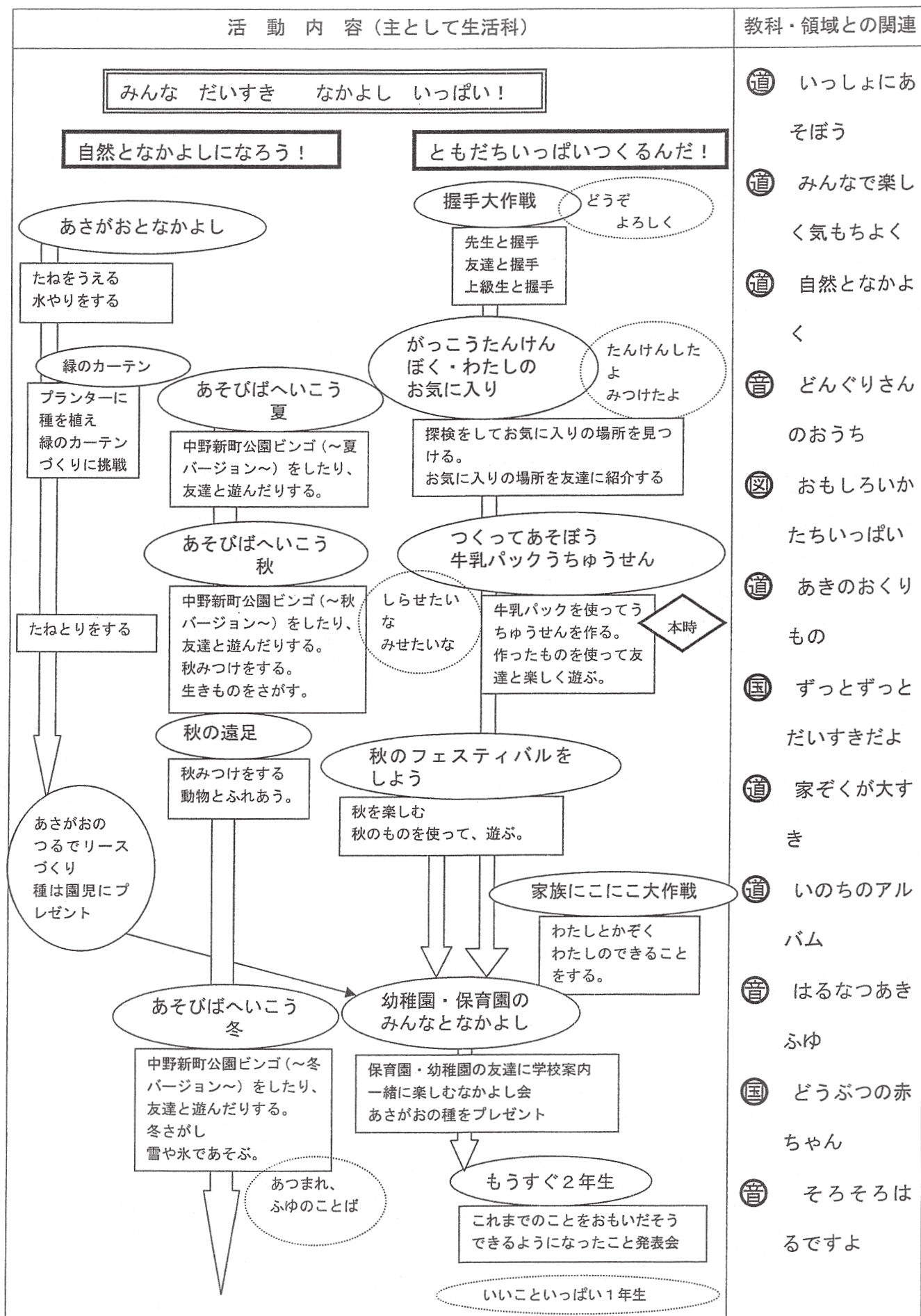
身近な牛乳パックを学習の材料とする。本単元では、単元の導入で牛乳パックでできたうちゅうせんを3つ提示する。「ふんわり高く浮くうちゅうせん」「ロケットのように直線的に進むうちゅうせん」「飛ばしたら必ず上向きに立って着陸するうちゅうせん」である。子どもたちは自分たちのうちゅうせんをつくって遊びたいというわくわくした気持ちで学習に取り組む。牛乳パックは、紙なので、切ったり貼ったりするなど、1年生の子どもたちにとって加工しやすい。また、「飛ぶ」ことは子どもたちにとって大変うれしいことなので願いや思いが明確になる。このように、くらしの中で一度使われた牛乳パックが、手を加えることで自分たちが遊べるものとして生まれ変わる。これは3Rの考え方につながっていくものと考え。うちゅうせんを

作りながら、資源のリサイクル活用を自然に意識づけていきたい。

牛乳パックうちゅうせん遊ぶ中で、飛行距離や滞空時間を競おうとする子ども、遊び方やルールを考え出す子どもが出てくるであろう。この動きを支援し広めることで、進んで友達に働きかけ、自分たちで遊び方やルールを工夫して楽しむことができる子どもを育てたい。作り方や遊び方を教え合ったり、遊びのルールを決めて遊んだりする友達とのかかわりの中で、互いに尊重し合ったり協調し合ったりすることを学んでいくと考える。

- 4 本時の学習活動
 - (1) 本時のねらい
 - ・ 自分の願いをもち「うちゅうせんひろば」で遊ぶことを通して、ルールや遊び方を工夫して友達といっしょに遊ぶ楽しさを味わうことができる。
 - (2) 本時の展開

学習活動・予想される児童の反応	備 考
自分の願いをもち、「うちゅうせんひろば」で遊ぼう。 1 やってみたい遊びを発表し、今日のめあてを確認する。 ・ 遠くまで飛ばす競争をしたいな。 ・ 高く上がって、飛び越せるようにしたいな。 2 「うちゅうせんひろば」で遊び方や飛ばし方を工夫しながら、友達といっしょに楽しむ。 <遊ぼう> 遠くまで飛ばそう 高く飛ばそう 的当てをしよう <作ろう> もっと遠くまで飛ぶように改良しよう うまく着陸できるようにしっかりつくろう はやくまっすぐに飛ぶようにしよう 3 「うちゅうせんひろば」で友達と一緒に遊んで、楽しかったことや見つけことを話し合う。 4 今日の遊びを振り返って、うちゅうせんカードを書く。	< 掲示 > ・ 牛乳パックが遊べるものに生まれ変わり、再利用できるという意識を大切に、掲示を工夫する。 < 教師の支援 > ・ やってみたい遊びで活動場所を決めておくなど、友達とかかわって遊ぶ楽しさを感じられるようにする。 ・ 遊びながら、うちゅうせんを改良したり、作り直したりできるように、作るスペースや材料を準備する。



E S D 公開授業

1 年 2 組 指導者 藤井 洋子
場 所 教 室

- 1 教科(領域)・単元名
国語科 「知らせたいな、見せたいな」
- 2 単元目標
 - ・ 家の人に知らせようと、自分の知らせたいものに思いを寄せ、よく見て書こうとする。
 - ・ 書こうとする題材に必要な事柄をよく観察し、順序を考え、相手に分かるように書く。
 - ・ 原稿用紙の使い方、句点、平仮名や漢字の表記に気をつけて書くことができる。
- 3 単元について



教科・領域との関連

子どもたちは、学校生活の中で、お気に入りのものや大好きな生き物など、家の人に「知らせたいな」「見せたいな」と思うことがよくある。伝達手段としては、写真、絵という方法もあるが、よく観察して文章に書いてみようというのが本単元である。

はじめに、知らせたいものの絵を描く。「見つけたよカード」に絵を描くことで、対象と対話しながら知らせたいものについて詳しく知ることができるからである。そして、絵の周りに、知らせたいものの色や形、様子などの書き込みをする。さらに、目や鼻などの五感マークのついた一文カードを書くというスモールステップを踏むことで、書くことへの抵抗をなくし、順序を考えながら書くことを意識づけたい。

本単元では、子どもたちが、公園や学校の自然、自分の生活の周りのものに思いを寄せ、家の人に「知らせたい」という思いを強くもって取り組むことによって、身近な環境に自らかかわっていきこうとする気持ちを高めたい。そして、豊かに表現できるよう、グループでの話し合いの時間をもつ。知らせたいものについて、子どもたちが互いに質問し合うことで、コミュニケーション能力を高めるとともに、互いの価値観や意見を尊重し合う大切さを一年生なりに体感させたい。

4 本時の学習活動

(1) 本時のねらい

- ・ 自分が書いた「見つけたよカード」に対する友達の質問に答えることで、知らせたいものの書き込みを詳しくすることができる。

(2) 本時の展開

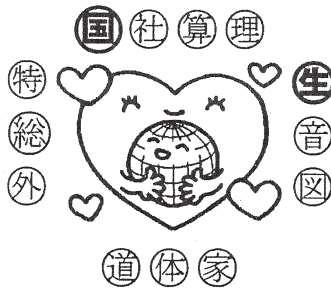
学習活動・予想される児童の反応	備 考
「見つけたよカード」をもっと詳しくしよう。 1 「見つけたよカード」をもっと詳しくするために、どんなことを書けばよいか確認する。 ・ 色や形、様子を書けばいいよ。 ・ 思ったことも書くといいよ。 2 グループで、一人一人の「見つけたよカード」について質問し合い、自分の「見つけたよカード」に付け加えをする。 ぼくが知らせたいものは公園で見つけたバッタです。とっても大きいです。捕まえるのが大変でした。 大きいってどれくらい大きいですか。どうやって捕まえたの。 私が知らせたいものはドングリです。帽子がついていて、2つつながっていました。 へえ、すごいね。見つけたとき、どう思いましたか。 3 グループでの話し合いをして、よかったことをカードに書いて発表する。 ・ 虫の鳴き声のことを聞かれて、「リリリ」って鳴くことを付け加えられたし、草のにおいのことも書けたよ。 ・ 毒きのこのことを友達に質問されて、「気持ち悪い」だけじゃなくて、「ぬるぬるして気持ち悪い」って詳しく書けたよ。	〈教師の支援〉 ・ 掲示を見て、色、形、様子などの観点に気づくようにする。 ・ 絵を見せながら話しそれについて質問するやり方を事前に指導しておく。 ・ 「見つけたよカード」に五感マークを記入させることで、質問や付け加えをしやすくする 〈準備物〉 ・ 見つけたよカード ・ カードを詳しくすることによって、家の人に知らせたい、見せたいという意欲を一層高める。

活 動 内 容 （主として生活科と国語科）	教科・領域との関連
みんな だいすき！ なかよし いっぱい！！ 自然となかよし ともだちいっぱい！ みんなにつたえよう あさがおとなかよし 握手大作戦く どうぞよろしく 種を植える 水やりをする 先生と、友達 と、上級生と 相手に分かるように自 分の名前を丁寧に書く がっこうたんけん ぼく・わたしのおきにいり たんけんしたよ、 みつけたよ あそびばへいこう 夏 お気に入りの場所を見つける お気に入りの場所を友達に紹介する 中野新町公園ビンゴ (夏バージョン) 友達と遊ぶ すきなものおしえて 友達の好きなものを尋ね、 紹介する文を書く あさがおの リースづくり てがみをかこう 相手や目的を考えながら 手紙を書く つくってあそぼう 牛乳パックうちゅうせん みんなに しらせたいこと あそびばへいこう 秋 牛乳パックを使って宇 宙船をつくる 友達と遊ぶ みんなに知らせたいことを、 順序を考えながら話す 中野新町公園ビンゴ (秋バージョン) 友達と遊ぶ 秋みつけをする しらせたいな、 見せたいな 秋の遠足 秋みつけ 秋のフェスティバル をしよう 家の人に知らせたい事柄をよ く考えて書く 秋を楽しむ 秋のものを使って遊ぶ おみせやさんごっ こをしよう 家族にここに大作戦 客と店の人になりきって売り 買いのやりとりをする 幼稚園・保育園の みんなとなかよし わたしは、 なんでしょう あそびばへいこう 冬 保育園・幼稚園の友達に学校案内 一緒に楽しむなかよし会 あさがおの種をプレゼント 当ててほしいものの特徴を聞 き手に分かりやすく話す 中野新町公園ビンゴ (冬バージョン) 友達と遊ぶ 雪や氷で遊ぶ もうすぐ2年生 いいこといっぱい、 1年生 思い出が読む人に分かるように、順序 を考えて書く	① いっしょにあそぼう ② みんなで楽しく 気もちよく ③ 自然となかよく ④ どんぐりさんのおうち ⑤ おもしろいかたち いっぱい ⑥ あきのおくりもの ⑦ おちば ⑧ 家ぞくが大きい ⑨ ありがとうをさがそう ⑩ いのちのアルバム ⑪ はるなつあきふゆ ⑫ もうすぐ2年生 ⑬ そろそろはるですよ

E S D 公開授業

2 年 1 組 指導者 堀 るみ子
場 所 教 室

- 1 教科（領域）・単元名
国語科 「生き物のくらしをのぞいてみよう～サンゴの海の生きものたち～」
- 2 単元の目標
 - ◎ サンゴの海の生き物たちが互いに役立っていることを事柄の順序を考えながら読むことができる。
 - ・ 生き物についての本を読み、「生き物カード」を書くことができる。
- 3 単元について



教科・領域との関連

本教材は、サンゴの海に暮らす生き物たちが共生していることを知らせる説明的文章である。この「共生」という関係は、E S D が目指すものにつながっている。

また、本文は文章構成が分かり易く、写真が大変美しい。本単元では、「かかわり合い」に焦点をあてて読み、生活経験を絡めて考えることで、子どもたちは知的好奇心を働かせ、今まで知らなかった自然の世界に驚きを感じるであろう。そして、さらなる情報を求めて科学的な読み物を読もうとする姿が期待される。そこで、教材文を学習した後に、生き物についての本を読み、「生き物図鑑」を書いて伝え合う活動を展開する。

本単元を通して、大事なことを落とさず読む力を付けるとともに、私たちはたくさんの生き物と共に生きていることを学ぶ子どもの姿を願っている。

4 本時の学習活動

(1) 本時のねらい

- ・ ホンソメワケベラと大きな魚とのかかわり合いについて、大事なところに気をつけて読むことができる。

(2) 本時の展開

学習活動・予想される児童の反応	備 考
ホンソメワケベラと大きな魚は、いっしょにいて、どんないいことがあるのかな。 1 本時の学習課題を確かめ、音読する。 2 ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合う様子や理由について話し合う。 大きな魚の口の中に入る。 そうじ魚。 とった虫が食べ物になる。 どうやって掃除しているのかな ペープサートで説明。 大きな魚 そうじをしてくれる。 仲間だと知っている。 たがいにかかわり合っている！ 3 話し合いを振り返り、ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを表す言葉とその理由を考えて書き、自分の考えをまとめて、発表する。 ホンソメワケベラと大きな魚は、たがいにかかわり合っているのです。 ・力を合わせて ・助け合って ・守り合って	〈準備物〉 ペープサート 大きな魚の模型 〈教師の支援〉 ・ 立ち止まりの必要な部分では、ペープサートを使って役割演技をすることにより、海の生き物の気持ちに迫るようにする。 ・ 学習カードに言葉を入れ、その理由を書くことでかかわり合いをまとめることができる。ない子には、個別に声をかける。

活 動 内 容 （主として生活科と国語科）	教科・領域との関連
ともに生きる　～やさしさいっぱい、なかよしいっぱい～ いろいろな人、生き物、そして 本に 出会おう いたち川散策・学校探検 5年生や1年生と交流 地域の自然に感動 学校のお気に入り場所の発見 野菜や植物のお話 やさいをそだてよう 家族や本から情報を得る 野菜の苗を入手する 野菜名人と苗植え 家庭や友達との交流 たんぼぼのちえ たんぼぼの生きる知恵を学ぶ 植物の科学読み物を読む ファミリーパークで農業体験（5月・7月） ファミリーパークの方との出会い 木曾馬との旧式田おこし わくわく田んぼで生き物採取 親子でつる返し 生き物を飼おう 金魚、ザリガニ、オタマジャクシ、カブトムシ、スズムシの飼育 かんさつ名人になろう 観察文の書き方を学ぶ いろいろな人、生き物、そして 本に かかわり合おう わたしのまち大すき 人、場所、自然との出会いと発見 個、グループの探検活動 お気に入りをお教え合う 海の生き物のお話 やさいをそだてようプラス 野菜の苗を入手する 自分たちで苗植え 家庭や友達との交流 サンゴの海の生きものたち サンゴの海の生き物との出会い 自分の暮らしとのつながりを考える 個やペアによる読みの追求 科学読み物とのかかわり 生き物図鑑を作り、全校のみんなに伝える ファミリーパークで農業体験（10月） 職員の方々との交流 サツマイモ堀り　木曾馬に餌やり 生き物を飼おう 金魚、ザリガニの飼育 図書館の利用 生き物図鑑 みんなでつくろうフェスティバル これまでかかった人を招待し、フェスティバルを行う いろいろな人、生き物、そして 本に もっと かかわろう わたしをそだてる町 お世話になった人に感謝の気持ちを伝える できるようになったことを見つけよう できるようになったことを調べる できるようになったことを発表し合う 楽しかったよ2年生 一年間を振り返り、できるようになったことを書き、交流し合う	算 時こくと時間 道 げん気にあいさつ 国 スイミー レオ・レオのお話 道 しぜんとなかよく 図 わたしのザリガニくん 国 お手紙 A. ロ・レのお話 本時 道 あたたかいところで 国 スーホの白い馬 外国のお話

ファミリーパークで農業体験（10月）

職員の方々との交流
サツマイモ堀り 木曾馬に餌やり

生き物を飼おう

金魚、ザリガニの飼育
図書館の利用

生き物図鑑

E S D 公開授業

2 年 2 組

指導者 大崎 智子

場 所 教 室

1 教科（領域）・単元名

生活科 「わたしのまち 大すき」

2 単元の目標

- ・ 地域の人や場所と積極的にかかわりたいという思いをもち、自分の校区を進んで探検し、地域への愛着を深めたり、かかわりを広げたりする。
- ・ 親しくなった人や愛着をもった場所など自分のお気に入りについて、伝えることができる。
- ・ 地域の人や場所とかかわることを通して、地域のよさ、大切さ、かかわることの楽しさに気付くことができる。

3 単元について



教科・領域との関連

中央小校区は、子どもたちが興味をもちそうな公園や博物館など公共の場所や店が多い。そこで、地域で生活している人々の姿を間近で見たり、話を聞いたりしながら、これまで何気なく生活してきた自分たちの地域のよさに気づき、地域への関心を広げてほしい。

地域を探索する際には、あいさつをする、用件を伝える、相手の都合を尋ねるなど、人と適切に接するために必要なことを学ぶ経験をするようになる。このような人との接し方を身に付けることも大切な学習の一つである。

物や場所への興味が地域のよさの発見につながり、地域とより深いかかわりが生まれる。地域の場所や人と繰り返しのかかわる体験を重ねることで、地域への愛着を深め、自分たちが住むまちが「大すき」と言える子どもに育つことを願っている。

4 本時の学習活動

(1) 本時のねらい

- ・ 町探検を通して自分が思いを寄せてきた場所や人を紹介し合うことで、今後の活動意欲を高め、地域への親しみや愛着を深めることができる。

(2) 本時の展開

学習活動・予想される児童の反応	備 考
わたしが見つけた「すき☆☆」を聴き合おう。 1 探検で見つけたことについて話し合う。 場所、物 広くて、遊ぶ物がいっぱいだよ。 人 お店の人が優しく教えてくれたよ。 動・植物 〇〇公園にはきれいな花が咲いているよ。 〇〇公園の遊具はすごくおもしろいよ。 お店の人と仲良しになったよ。 だれかが公園の花のお世話をしているのかな。 2 友達の「すき☆」を聞いて思ったことをふり返る。 ・ おもしろいものがいっぱいある公園には人もたくさん遊びにきているね。☆☆になったよ。 3 今日の話し合いから次にどこを探検したいかカードに書く。 ・ ◎◎公園もおもしろいと聞いたけど、△△公園も好きだったから両方行って比べてみたい。 ・ お店の人にもっとお店の秘密を聞きたいな。	・ 公共施設（星井町児童文化センター、富山市科学博物館）、商店、家庭との連携 〈準備物〉 ・ プロジェクター、写真実物投影機 ・ 校区地図 〈教師の支援〉 ・ 同じ場所、人でも見る視点によって個に違いがあることに気付くことができるような声かけや掲示を工夫する。

活 動 内 容 （主として生活科）	教科・領域との関連
ともに生きる ～やさしく、なかよく、たすけあう～ いろいろな人、生き物、場所とかかわろう いたち川散策 学校探検 5年生と一緒に 鯉の水、竜の水 いたち川沿いの地蔵、桜並木 1年生を案内・・・地図の作成、ガイド お気に入りの紹介・・・クイズ、読み聞かせ メダルのプレゼント 今週のニュース / スピーチの仕方、スピーチの内容のを見つけ方を知る ファミリーパークで 農業体験 やさいを そだてよう 生き物を飼おう ファミリーパーク専門委員の 方との出会い 木曾馬との旧式田おこし わくわく田んぼで生き物採取 生き物の生存環境を知る 親子で除草活動 野菜の苗の入手のため店、祖父母か ら情報を得る 野菜名人と苗植え 栽培活動のため図書館の利用 栽培活動を通じた家庭、友達との交 流 金魚、ザリガニの飼育 飼育活動のため図書館の 利用 ザリガニとの触れ合い カブトムシ、スズムシへ の興味 かんさつ名人になろう / 観察文の書き方を知る かかわった人、生き物、場所のよさを知ろう ファミリーパークで 農業体験 わたしのまち 大すき 生き物を飼おう ファミリーパーク専門委 員の方との交流 サツマイモ堀り 木曾馬に餌やり 校区探検を通じた人、場所、自然との出会い 自分が見つけたお気に入りの紹介 探検の計画準備 個、グループの探検活動による追求 人、場所、自然との継続的なかわり 自分の大すきを教え合う ザリガニの飼育 飼育活動のため 図書館の利用 ザリガニとの触 れ合い ありがとうが いっぱい みんなのものを大せつに みんなでつくろう フェスティバル これまでかかわった人を招待して、 フェスティバルを企画し、楽しむ あしたへジャンプ できるようになったことを 見つけよう ありがとうを とどけよう わたしを そだてる町 できるようになったことを調べる できるようになったことの発表 お世話になった人に感謝の 気持ちを伝える	算 時こくと時間 道 げん気にあいさつ 国 スイミー 道 しぜんとなかよく 図 わたしの ザリガニくん 国 サンゴの海の 生きものたち 国 お手紙 道 あたたかい ところで 国 楽しかったよ、 2年生 国 スーホの白い馬

1 教科(領域)・単元名

総合的な学習の時間 「発見! 発信! 中央小たんけんたい」

2 単元の見目標

- ・ 校区を意欲的に探検し、昔から大切にされてきた地域の産業や人の暮らしなどについて調べ、よさを発見することができる。
- ・ 発見したよさを大切に守りたいという思いや考えを付け加え、発信することができる。

3 単元について

教科・領域の関連

校区には古く江戸時代から続いている薬づくりや、お菓子づくり、人々の暮らしなど、宝物のような産業や伝統が息づいている。また、たくさんの公園や公共施設など住みよい環境がそろっている。しかし、子どもたちは、校区に住んでいながら、そのすばらしさにあまり気づかずに生活している。

本単元では、2年生から続けている町探検に引き続き、校区探検を行い、地域の方にじかにインタビューしたり、現地に足を運び、詳しく観察したりしながら、校区のすばらしさを発見させたい。

探検活動を通して、子どもたちのコミュニケーション能力を高めるとともに、地域への愛着を育てていきたい。そして、地域のよさに気づき、自分たちも地域の暮らしを大切に守り、伝えていきたいという熱い思いをもちながら、広く校区以外の人へも発信していくことが、子どもたちにとって持続可能な未来へつながる学習となると考える。

4 本時の学習活動

(1) 本時のねらい

- ・ 自分が見つけた校区のよさについての発信を中間発表し、話し合うことで、さらに詳しく調べたり、地域に対する自分の思いや地域の方の思いを深めたりしようとする。

(2) 本時の展開

学習活動・予想される児童の反応	備 考
中央校区のよさがよく伝わるかな? 発信の中間発表を聞き合い、互いによさを見つけたり、アドバイスしたりして深めよう。 1 友達に伝えたいことや、聞いて確かめたいこと等を発表する。 発信したいもの(パンフレット、かわら版等)に、詳しく調べたこと・地域に対する自分の思い・地域の人の思いなどの地域のよさが入っているか。 2 5つのグループに分かれて、互いに自分のまとめたパンフレットやかわら版などを発表し合い、地域のよさを見つけたり、友達のまとめ方についてよいところやアドバイス等を付箋に書き、伝え合う。 広貫堂のよさを、パンフレットを観光客に読んでもらいたいな。 ・ 300年もの昔から富山の薬がつくられ、人々に飲まれているからすごい。 ・ 薬草や動物から富山の薬ができていますよ。 ・ 薬の箱に絵をかいて字が読めない人にも何の薬か分かるようにしていたのは、薬を飲む人のことを考えていてすごい。 薬のパッケージに込められた広貫堂の人の思いまで、詳しく調べていいいな。 富山の薬は薬草や動物が原料で、昔の人の知恵が込められているという考えがいいな。 3 友達の意見を(付箋)をもとに、これから工夫していきたいことをカードに書き、発表する。	<準備物> ・ 発信したいことを下書きしたパンフレット、かわら版等 <教師の支援> ・ 自分の思いや地域の人の思いが入っていたり、詳しく観察したり、インタビューしたりして意欲的に調べてあるかという視点から発信の見直しをさせる。 <使用教材・資料> ・ 聞き耳カード ・ 付箋 ピンク よいところ 緑 アドバイス 黄 感想

活 動 内 容 （主として総合的な学習の時間）	教科・領域との関連
発見! 発信! 中央小たんけんたい	道 体 国 国 国 国 生きたれいぎ さんさい踊り ありの行列 わかりやすく書こう
学校のまわりをたんけんしよう	
学校の南たんけん 古いお寺・広貫堂・古い糸屋・お菓子屋・リトルマーメイド（パン屋）を発見	国 道あんない
学校の北たんけん 中央通りにはお店がたくさんあることを発見	
学校の西たんけん ピアゴ（ショッピングセンター）、島川のあめ屋、マンション、老人向けマンションなど発見	社 スーパーマーケットではたらく人
学校の東たんけん いたち川、元清水町小学校、げた屋など発見	道 道 大切ないのち ありがとうな ありがとうな
もう一度気になるところをたんけんしてみよう	
池田屋たんけん たくさんの種類の薬、売薬の歴史、富山は薬の都、自然のものを利用しての薬づくり 江戸時代から続いている薬づくり（反魂丹）	デジタルカメラを活用しよう めいし作りにちょう戦 インタビュー名人になろう
広貫堂たんけん 薬草や動物など薬の原材料、富山は薬の都 売薬さんの活躍、新しい薬の開発 江戸時代から続いている薬づくり	世界わくわく大発見（1） ～祭り～
お寺たんけん たくさんの古いお寺 さんさい踊り	国 進んで話し合い発表しよう
島川あめ屋たんけん 砂糖を使わず麦芽だけで自然の甘さ 江戸時代から続いているあめ作り 地産地消の考え 現代の人のための新商品開発（マッシュー）	竹林堂たんけん 江戸時代から続いているまんじゅうづくり
校区のよさを考え、伝えよう!	
自分たちの見つけた校区のよさ 昔から大切に守られてきた伝統 地産地消 人への思いやり 巧みな技 自然のものを使う昔からの知恵 これからも生き残るための工夫 本時	世界わくわく大発見（2） ～買い物からみる世界～ ローマ字にちょうせん ICT 発信しよう! プレゼンテーション編 世界わくわく大発見（3） ～あいさつ・行事～
発信しよう! 校区パンフレットを作ろう	道 お礼の心を伝えよう
自分の地域に対する思いや考え 自分の思いや考えが伝わる表現の工夫 レイアウト・字の大きさ・色などの工夫	お世話になった方々に感謝の気持ちを伝えよう 算 ぼうグラフとひょう

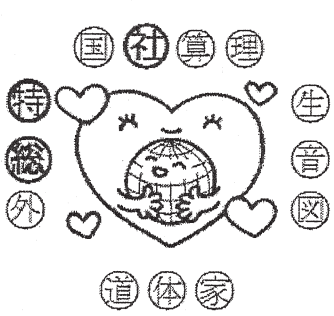
1 教科（領域）・単元名

総合的な学習の時間 「世界わくわく大発見 ― 買い物から見えてくる世界 ―」

2 単元の目標

- ・ 食べ物や身の回りのものを調べることで、外国とのつながりの深さに気づき、外国や外国人への興味・関心を高める。
- ・ 外国について調べたり、外国人と交流したりすることによって、外国人の考えや外国の文化に触れ、互いの違いや共通点を認めることができる。

3 単元について



3 年生の児童にとって国際理解に関する学習は初めてである。

本単元では、自国文化理解、他国文化理解、コミュニケーション能力の育成を主な学習内容として取り上げる。そこで単元の導入では社会科との関連を図り、自分たちの暮らしの中には外国から入ってきた物や言葉が多くあることに気づく活動を通して、児童の興味・関心を高めながら学習活動を展開していく。

また、調べる学習では、1 学期の校区探検の学習で身に付けた自分の課題を自分なりの方法で解決していく力を生かし、自国の文化理解を通して地域の人々や家族とのかかわりが深まるようにしたい。

外国の人や文化とふれあう・伝えあうことにより、互いの食文化の共通点や相違点に気づき、互いの文化を尊重する心を育てていきたい。

4 本時の学習

(1) 本時のねらい

- ・ 「食」を通して他の国の人や文化にふれたり、日本の文化を紹介したりすることで互いの共通点や違いに気づくことができる。

(2) 本時の展開

学習活動・予想される児童の反応	備 考
外国の人に日本の食文化を紹介し、交流しよう 1 子ども同士で日本の食文化を紹介しあったり、ALT に外国の食文化について質問したりする。  ・ 日本人は、納豆をよく食べるよ。外国の人は納豆が好きかどうか英語で聞いてみたいな。 2 日本と外国の食文化の共通点や違いについて気づいたことや不思議に思ったことを話し合う。  ・ ぼくたちが食べている食べ物は、外国から来ているものが多いことが分かった。日本と外国はつながっているのだな。 3 今日の話し合いを振り返り、ワークシートに新しく見つけたことやもっと調べたいことを書く。	<ゲストティーチャー> ・ ALT <使用教材・資料> ・ 写真 ・ DVD <教師の支援> ・ 身近な学びから世界にまで視野を広げるように助言する。 ・ 他国と日本の共通点や違いを意識できるように助言したり板書で整理したりする。

学 習 内 容	教科・領域との関連
発見！発信！中央小たんけんたい ③ 学校のまわりをたんけんしよう もう一度気になるところをたんけんしてみよう 世界わくわく大発見ー祭りー 校区のよさを考え、伝えよう！ 世界わくわく大発見ー買い物から見えてくる世界ー 発信しよう！ 世界わくわく大発見ーあいさつ・行事ー 校区パンフレットを作ろう	世界わくわく大発見ー 買い物から見えてくる世界ー 校区を紹介しよう ・校区の様子をガイドマップにまとめる。 町ではたらく人びとのしごとをしらべよう ・働く人に会える場所について話し合う。 ・働く人の仕事に興味をもつ。 私たちの生活から外国をさがそう スーパーマーケット見学 ・どんなものが売っているのか調べる。 ・商品は、どこからくるのか興味をもつ。 外国をさがそう ・家庭にあるものやスーパーの食材などに目を向け、外国のものを探す。 ・日常生活と外国とのつながりの深さを理解し、外国に対する興味・関心を高める。 しらべよう 世界 日本のよさを発見！ 発見！世界いろいろ ・外国について自分が調べてみたい課題をもつ。 ・調べる手段を工夫し、自分の課題を解決する。 ・解決したことを自分なりの方法でまとめる。 ・日本の文化のよさを知る。 ・日本が外国に誇れることやものを考える。 外国のことばを話してみよう あいさつしよう 好きなものは何？ ・英語であいさつし、コミュニケーションをとる練習をする。 ・食べ物の名前を英語で言う。 外国の人や文化とふれあおう・つたえあおう 分かりやすく話そう 日本の食文化を紹介し 外国の人と交流しよう ・聞き手によく分かるように話す。 ・子ども同士で日本の食文化を紹介しあったり、外国の人に外国の食文化について質問したりする。 本時
	⑪ 人びとのしごととわたしたちの暮らし ⑫ スーパーマーケットで働く人たち ⑬ ハワイの石うす <ICT活用> 「インターネットで情報活用」 「ローマ字に挑戦！」 ⑭ 進んで話し合い、発表しよう <ICT活用> 「プレゼンテーション」

E S D 公開授業

4 年 1 組 指導者 深井 美和
場 所 教 室

- 1 教科（領域）・単元名
総合的な学習の時間 「地球にやさしい TOYAMA に！～レッツゴー！中央エコキッズ」
- 2 単元の目標
 - ・ 情報を収集し、自分なりの方法で調べ、自分の考えを導き出すことができる。
 - ・ 地域に目を向け、学んだことを生かして、自分にできることから行動することができる。
- 3 単元について



教科・領域との関連

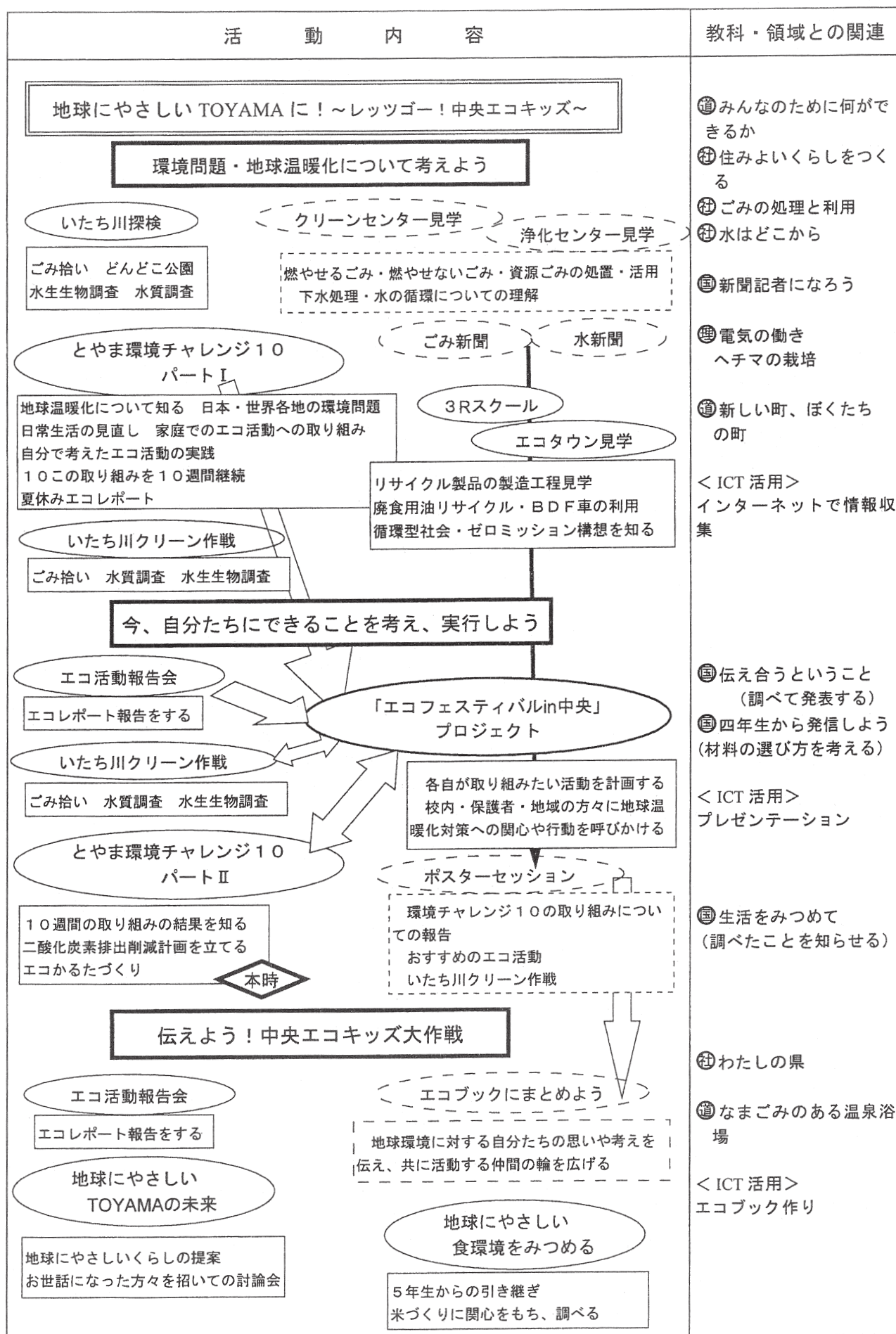
校区を流れるいたち川に直接かかわる調査・体験活動を通して、社会科のごみや水の学習内容と結びつけながら、日常生活の場面での問題解決につなげていく。国語科の学習を生かし、総合で発見したことを新聞づくりやアンケート調査結果のまとめ、ポスターセッションでの提示資料など表現活動の場を設ける。

地球温暖化防止活動に取り組む「チームとやまし」の一員として、「環境チャレンジ10」に参加する。専門機関や外部人材との連携により、現状をしっかりと捉えて考えたり、地域の要望を生かした行政の取り組みを理解したりしながら、自ら環境へ働きかける意欲を高め、実践へとつなげていく。

プロジェクト型の学習活動を取り入れることにより、友達や家庭、地域の人々と協同して課題を解決し、具体的に実践する態度を身につけることができる。

- 4 本時の学習活動
 - (1) 本時のねらい
 - ・ 環境チャレンジ10週間の取り組みの結果を聞き、今後継続して可能なエコ活動を考え、他に広めるためのエコかるたづくりをすることができる。
 - (2) 本時の展開

学習活動・予想される児童の反応	備 考
「環境チャレンジ10」のどんな取り組みが、二酸化炭素を減らし、地球温暖化を止めることにつながるのだろうか。 1 10週間の取り組みの結果を環境指導員の水落さんから聞く。 2 自分たちの取り組みの結果、どれだけの二酸化炭素を減らすことができたかを知り、今後の活動を考える。  エコを意識して活動することで、こんなに二酸化炭素を減らすことができると分かってよかった。これからも続けていきたい。  家族のエコに対する意識がすごく変わった。自分だけでなく、みんなで取り組むことで、少しずつ地球温暖化を止めることもできるのではないかと思った。 家でできること、学校でできることなど、ちょっとした心がけで気軽に取り組めるエコ活動をもっと多くの人にも参加してもらって一緒にやっていきたい。 3 エコ活動を広めるために「かるた」で表現する。 「ストップと 声かけ合うも エコ活動」 「もったいない 楽しいエコの 合言葉」 4 今日の活動を振り返り、データ結果から考えたことや「エコフェスティバルin中央」での発表に生かしたいことを書く。	<ゲストティーチャー> 「とやま環境チャレンジ10」環境指導員 (水落さん) <使用教材・資料> ・ 地球温暖化を止めるには ・ チャレンジ10のデータ結果 <教師の支援> ・ データ結果から取り組みの効果を実感できるように配慮する。 ・ エコフェスティバルの宣伝や会場掲示にかるたを使い、参加者に關心をもってもらうようにする。



E S D 公開授業

4 年 2 組 指導者 中村 真知子
場 所 教 室

- 1 教科（領域）・単元名
総合的な学習の時間 「地球にやさしいTOYAMAに！～レッツゴー！中央エコキッズ～」
- 2 単元の見目
・ 身近な地域や地球上の様々な環境問題について、関心をもって調べるができる。
・ 環境を守るために、自分たちでできることを考え、実践することができる。
- 3 単元について



教科・領域との関連

子どもたちは、社会科のごみや水の学習を通して、自分たちの生活が環境と深く結びついていることを学んだ。そして、一人一人が自分の生活の仕方を見直すことで、環境問題を解決していくことにつながることを理解することができた。

地球温暖化防止活動に取り組む「チームとやまし」の一員として、「環境チャレンジ10」に参加する。専門機関や外部人材との連携により、現状をしっかりと捉えて考えたり、地域の要望を生かした行政の取り組みを理解したりしながら、自ら環境へ働きかける意欲を高め、実践へとつなげていく。

自分の学びや実践を、新聞や提示資料にまとめ、ポスターセッションで全校児童や地域の方に発信する場を設定することで、家庭や地域と協力しながら、身近な環境問題の解決に向けて実践しようとする態度を身につけることができるようにしたい。

- 4 本時の学習活動
 - (1) 本時のねらい
 - ・ 「エコフェスティバル in 中央」で伝えたい思いを話し合う活動を通して、自分たちの成長に気づき、地域の方に発信する意欲を高めることができる。
 - (2) 本時の展開

学習活動・予想される児童の反応	備 考
地球にやさしいTOYAMAに！エコの輪を広げよう！ ～ぼく・わたしたちの思いを語り合おう～ 1 「エコフェスティバル in 中央」で、だれに、どんなことを、どのように伝えたいか、思いや願いを話し合う。  地域のいたち川の様子を発表して、地域の人にゴミのない美しい川にしたいというわたしたちの願いを伝えたい。  環境問題に関心をもってもらい、一人でも多くの人に、ぼくたちと一緒にエコ活動に参加してもらいたい。 2 ポスターセッションの資料や取り組みの様子の写真を見ながら今までの学習や実践を振り返る。 いたち川にゴミを捨てないでほしいという私たちの願いを伝えるために、看板やポスターを作った。 できるだけ電気を使わないように、こまめに電気を消したり、窓を開けたりしている。地域の人も、節電を心がけて生活してほしい。 3 環境の学習や実践を通して、自分の思いや考えの変化に気づいたり、今後のエコ活動について考えたりする。 初めはエコ活動は大変だと思っていたけど、続けるうちにエコ活動が当たり前になって、家族みんなで取り組むようになった。今後もずっと続けていきたい。 4 今日の活動を振り返り、ワークシートに学習後の感想や、「エコフェスティバル in 中央」で伝えたいことや思いを書く。	〈使用教材・資料〉 ・ ポスターセッションの提示資料 〈教師の支援〉 ・ 自分たちの成長に気づくように、これまでの取り組みを振り返っての感想をまとめておく。 ・ 願いを出し合い、共通理解することで「エコフェスティバル in 中央」での発信の意欲を高められるようにする。

活 動 内 容	教科・領域との関連
地球にやさしい TOYAMA に！～レッツゴー！中央エコキッズ～ 環境問題・地球温暖化について考えよう いたち川探検 ごみ拾い どんどこ公園 水生生物調査 水質調査 クリーンセンター見学 浄化センター見学 燃やせるごみ・燃やせないごみ・資源ごみの処置・活用 下水処理・水の循環についての理解 とやま環境チャレンジ10 パートⅠ ごみ新聞 水新聞 3Rスクール エコタウン見学 地球温暖化について知る 日本・世界各地の環境問題 日常生活の見直し 家庭でのエコ活動への取り組み 自分で考えたエコ活動の実践 10この取り組みを10週間継続 夏休みエコレポート リサイクル製品の製造工程見学 廃食用油リサイクル・BDF車の利用 循環型社会・ゼロミッション構想を知る いたち川クリーン作戦 ごみ拾い 水質調査 水生生物調査 今、自分たちにできることを考え、実行しよう エコ活動報告会 エコレポート報告をする 「エコフェスティバルin中央」 プロジェクト いたち川クリーン作戦 ごみ拾い 水質調査 水生生物調査 各自が取り組みたい活動を計画する 校内・保護者・地域の方々に地球温 暖化対策への関心や行動を呼びかける とやま環境チャレンジ10 パートⅡ ポスターセッション 環境チャレンジ10の取り組みにつ いての報告 おすすめのエコ活動 いたち川クリーン作戦 10週間の取り組みの結果を知る 二酸化炭素排出削減計画を立てる エコかるたづくり 伝えよう！中央エコキッズ大作戦 エコ活動報告会 エコレポート報告をする エコブックにまとめよう 地球環境に対する自分たちの思いや考えを 伝え、共に活動する仲間の輪を広げる 地球にやさしい TOYAMAの未来 地球にやさしい 食環境をみつめる 地球にやさしいくらしの提案 お世話になった方々を招いての討論会 5年生からの引き継ぎ 米づくりに関心を持ち、調べる	① みんなのために何がで きるか ② 住みよいくらしをつく る ③ ごみの処理と利用 ④ 水はどこから ⑤ 新聞記者になろう ⑥ 電気の働き ヘチマの栽培 ⑦ 新しい町、ぼくたち の町 < ICT 活用 > インターネットで情報収 集 ⑧ 伝え合うということ （調べて発表する） ⑨ 四年生から発信しよう （材料の選び方を考える） < ICT 活用 > プレゼンテーション ⑩ 生活をみつめて （調べたことを知らせる） ⑪ わたしの県 ⑫ なまごみのある温泉浴 場 < ICT 活用 > エコブック作り

E S D 公開授業

5 年 1 組 指導者 伏間 三晃
場所 教室

1 教科（領域）・単元名

総合的な学習の時間「食の向こうに見える世界 ～これからの米づくり～」

2 単元の目標

- ・ 稲作体験で学習したことを基にして、自分の食生活とつないで現在の食料生産について考えていくことができる。
- ・ 現在の食料生産と消費のあり方から国際協力や環境について互いの考えを確かめ合いながら、これからの食料生産や食生活のあり方について考えを深めたり、関係の方々や家族に提案したりすることができる。

3 単元について



- ・ 食料生産については、米づくりに重点を置いて学習を進める。体験的な活動の場として、ビオトープに穴を掘り、土の入れ替えを子どもたち自身の手で行い水田を作った。そこで、稲の苗の様子を観察しながら、水の管理、除草、追肥などを行い、稲への愛着がわくようにした。また、子どもたちは実際に有機栽培農法の方々の協力を得て稲作を体験している。実感と体験をもとに聞き取り調査をすることで情報を集め、食料生産に携わる人々の生産の様子、工夫や努力、願いをつかんでいく。
- ・ 食事調査をきっかけに、現在の私たちの食生活の中の変化やその実際や問題点を見つめながら、「食に対する消費者としての願い」を一方の視点として位置づけていく。そうすることで、子どもたちは、より自分とのかかわりから食料生産に目を向けていくと考える。
- ・ 現代の食生活を考えたとき、外国からの輸入と食料の自給との関係を切り離して考えることはできない。そこで、環境への影響、国際協調などの観点からも持続発展可能な社会づくりについて迫らせたい。

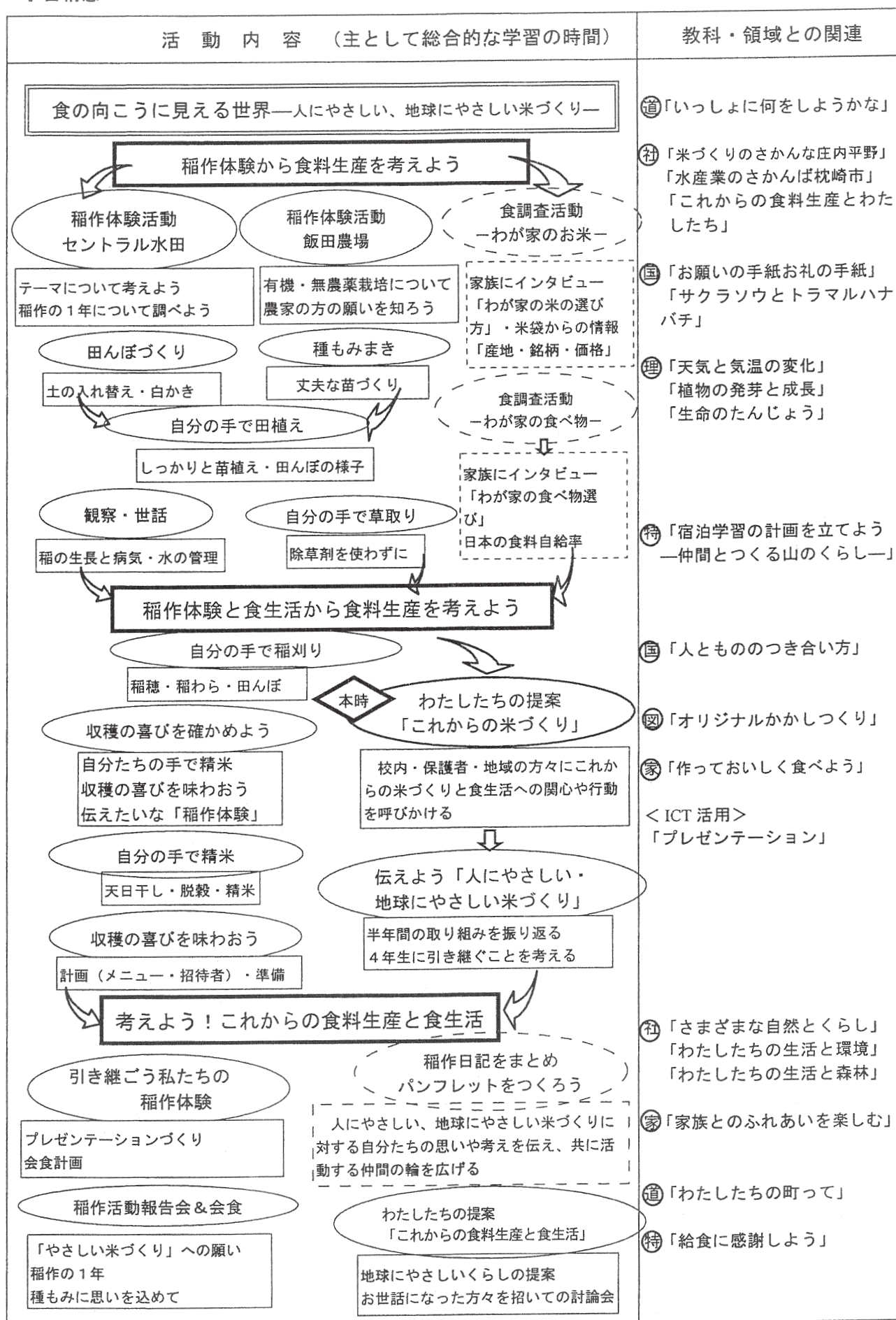
4 本時の学習活動

(1) 本時のねらい

- ・ これからの米づくりは、環境と消費者のことを考えていく姿勢が大切なことや、生産者と消費者との信頼の重要性に気づく。

(2) 本時の展開

学習活動・予想される児童の反応	備考
「これからの米づくり」の提案に向けて、自分の考えを見直そう 1 これまで学習してきた中で、さらに気になることや最近のニュースで話題になっていることについて話し合う。 稲作体験活動から ・ 農薬や除草剤を使わないと、田んぼには生き物がいっぱいいた。虫たちにやさしい米づくりは、私たちの体にも虫以外の環境にもやさしいと思う。 ・ 薬や化学肥料に頼らないぶん手間ひまがかかることが分かった。安全な米を大量に生産するのは大変なことだが増えてほしい。 食事調査から ・ 毎日食べるお米に対して「おいしい・安全・安い」といった願いや思いがあり、どれも大切だが、安全を一番大事にしていきたい。お母さんもそう言っていた。 ・ 安心のために県内産の米や国内産の野菜や肉を選ぶ家庭が多い。しかし、日本の食料自給率が低く、農業人口が減っているのはどうしてだろうか。 ニュースなどから ・ 今年の夏は、集中豪雨で洪水や土石流の大きな被害があった。その防止策として、ダム役割として森林や水田を見直してみようという話があった。 ・ 大都会のヒートアイランド問題とも水田はつながっているよ。 2 自分が大切にしていきたい立場を明らかにする。 ・ 食の安心・安全を第一に考えてほしい。 ・ 作る立場も考え、消費者として協力できることを考えたい。 ・ 地球温暖化防止など環境問題とつなげてほしい。 3 互いの立場に対する自分の思いや考えをノートにまとめる。 ・ 毎日口にする食に関心をもちつづけて、考えていきたい。	<資料> ・ 稲作体験活動 ・ 最近の新聞・テレビニュースなど ・ これまでのノートと稲作日記 <教師の支援> ・ 環境への影響、生産者と消費者国際協調など、多面的な観点から考えられるように、立場を整理しながら話し合いを進めていく。



E S D 公開授業

5 年 2 組 指導者 中田 博子
場所 5 年多目的教室

1 教科（領域）・単元名

総合的な学習の時間「食の向こうに見える世界～人にやさしい地球にやさしい米づくり～」

2 単元の目標

- ・ 稲作体験で学習したことを基にして、自分の食生活とつないで現在の食料生産について考えていくことができる。
- ・ 食料生産と消費のあり方から国際協力や環境について考え、これからの食生活や食料生産について自分の願いをもち、自分の食生活に生かしたり、他の人々にはたらきかけたりすることができる。

3 単元について



・「米づくり」という体験活動を中心に学習を進めていく。子どもたちは、体験を通して、収穫の喜びを味わったり、農家の方の願いや苦勞に気づいたりしながら、生産者側と消費者側の両方の視点をもっていく。長年、米づくりに携わってきた方の言葉は、子どもの心に響き、日本の米づくりについて考えていくエネルギーになると考える。

・「人にやさしい 地球にやさしい 米づくり」をテーマに、肥料や農薬の問題等について話し合う中で、自分たちが食べる米のおいしさと安全性の追究という問題につき当たり、より身近な自分の問題としてとらえることができる。また、外国からの輸入や食料の自給率などさまざまな角度で食生活を見直していく中で、体験的に学んだことを発展させ、子どもたちがより一層切実感をもって、今後の食料生産や食生活について考えを深めたり広げたりする姿を期待する。

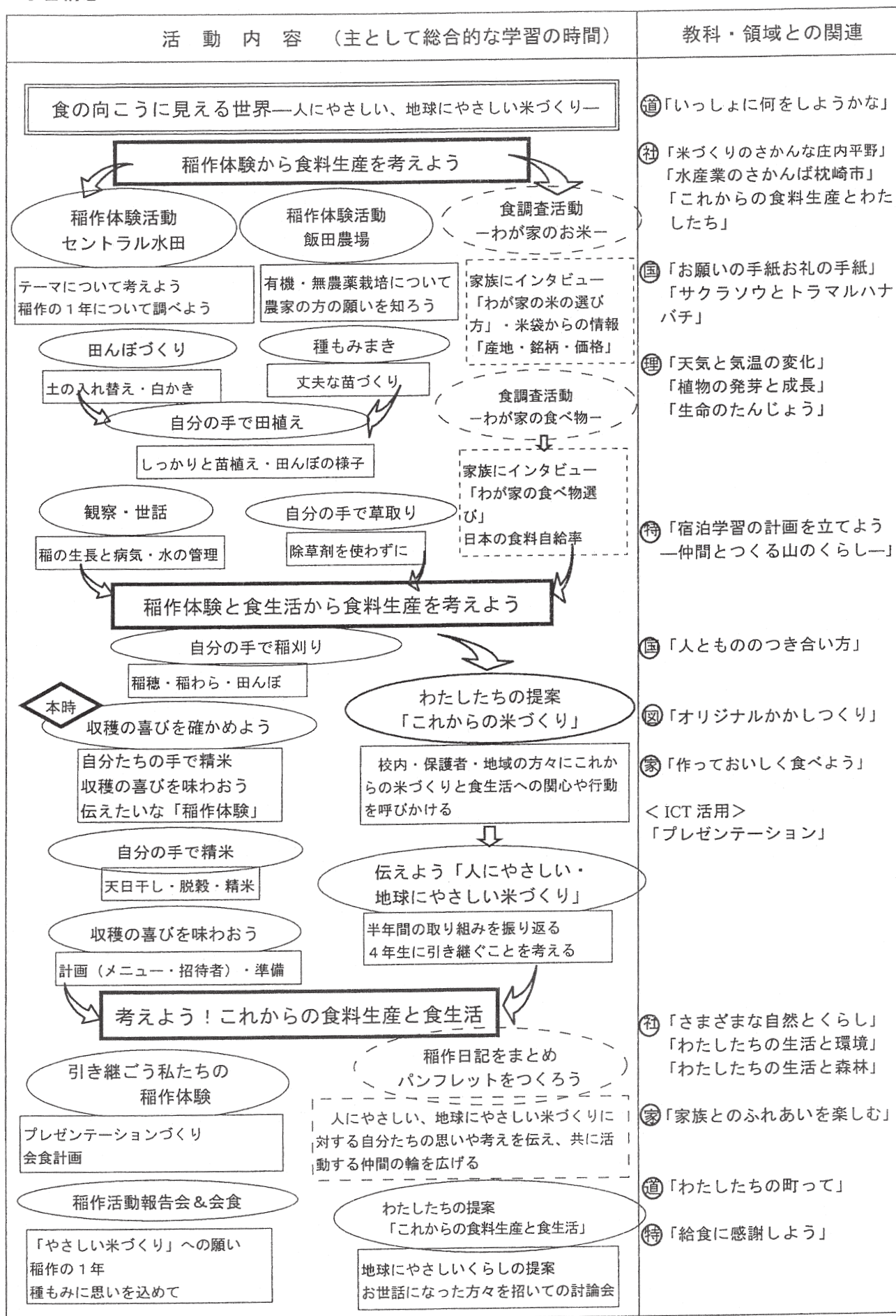
4 本時の学習活動

(1) 本時のねらい

- ・ 稲作体験を振り返り、思ったことや感じたことを話し合う活動を通して、米づくりや自分たちが育てた米に対する思いを深める。

(2) 本時の展開

学習活動・予想される児童の反応	備 考
稲作体験を振り返り、思ったことや感じたことを話し合おう 1 セントラル水田での米づくりについて話し合ったり、飯田さんからのメッセージを聞いたりしながら、自分たちの活動を振り返って話し合う。 (収穫の喜び) (米づくりの苦勞) 自分たちの手で、お米を作ることができてうれしいな。量は少なくても、このお米は大切なセントラル米だね。 飯田さんもいろいろな苦勞をしてこられたんだね。ぼくたちも、初めて水田をつくって、穴掘り、田植え、稲刈りとがんばってきたよ。 稲が倒れてしまったり、稲に害虫がついたり心配なことがたくさんあったよ。スズメにお米を食べられた時は、お米を守るために、かかしを作ったり光るテープを張ったりして必死に考えたよ。 セントラル水田のお米は少なくて残念。お米づくりはとても大変だね。飯田さんは、ぼくたちの何倍もの広さの田を管理しておられてすごいなあ。 2 今日の話し合いを振り返り、自分たちが育てた米に対する思いや今後の活動について稲作日記を書く。 みんなで味わって食べたいな。おいしいだろうな。 自分たちの手で精米をしたいな。どんな方法でやるのかな。 来年、米づくりを学習する4年生にプレゼントしよう。	<使用教材・資料> ・ セントラル水田と飯田農場の稲 ・ M O A 自然農法の飯田さんへのインタビュービデオ <教師の支援> ・ ビデオから、生産者の米づくりに対する思いに気づかせる。 ・ 今までの歩みを振り返ることができるように、写真や掲示物を用意する。



E S D 公開授業

6 年 1 組 指導者 井端 博之
場所 教室

1 教科(領域)・単元名

総合的な学習の時間 「世界の 12 歳調査隊 ～世界の子どもたちは今!～」

2 単元の目標

- ・自分たちにできる国際ボランティア活動を通して、「自分たちの活動がどこかできっと役に立っている」と実感し、誰かのために行動する充実感を味わう。
- ・世界の子どもたちの生活を知ったり、ボランティア活動をしたりすることから、自分の生き方を見つめ直し、未来に向かってたくましく生きていこうとする態度をはぐくむ。

3 単元について



世界の 12 歳という同年代の子どもたちの生活を探ることにより、自分の生活との違いに気づくなかから、今の自分を見つめる。周りの人々や恵まれた環境に感謝の心もち、これからも豊かな生活を持続するために、自分たちができることを考えてほしいと願い、この単元を設定した。

そこで、本単元では専門機関や外部人材を活用し、世界の 12 歳の子どもたちの生活の様子をじかに聞いたり、質問したりして実感をもって学んでいけるようにする。

また、調べて感じたり考えたりしたことを話し合う場を設けることで、自分の思いや考えを伝え合い、自らの取り組みを振り返り、ボランティア活動や自分の生活を見直すことにつながると考える。

教科・領域との関連

4 本時の学習活動

(1) 本時のねらい

- ・世界寺子屋運動に向け、自分たちの目標を定め、自分ができることを考えることができる。

(2) 本時の展開

学習活動・予想される児童の反応	備 考
世界寺子屋運動に向け、今自分たちにできることは何かを考えよう。 1 自分の調べたことから世界寺子屋運動に向け、自分のこれらの取り組みについて話し合う。 学校に行けず、文字の読めない子どもたちのためにリーフレットを使った呼びかけをしよう。 去年はポスターを 30 枚制作したそうだけど、どこに張ったのかな。去年の 6 年生に聞いてみたい。 去年は 1300 枚を集められたから、ぼくたちは 1500 枚を目標にしたい。 去年は、終業式で呼びかけて 1 つ機関の活動だったそうだから、もっと期間を延ばすといいね。 地区センターに行ってお願したそうだよ。今年も持って行って頼もう。 他にもたくさんの人が集まる場所で頼めそうなどころはないかな。 2 取り組みの良い点を伝えたり、思いを認め合ったりする。 お屋の放送で、みんなに訴える活動なら、できそうだね。 学校に行けない子どもたちを助けたいという思いが多くの人に伝わるようにみんなで力を合わせていこう。 3 今日の学習を振り返り、考えたことやわかったこと、思ったことをワークシートに書く書く。	<使用教材・資料> ・「世界寺子屋運動」リーフレット (ユネスコ) ・世界の子ども達のために(ユニセフ) <教師の支援> ・主張したいことが明確になるようにデータの提示の仕方を工夫するよう配慮する。 ・聞くポイントがわかる学習シートを用意する。

活 動 内 容	教科・領域との関連
－きらきら輝け12歳－ 世界の12歳は今！ どんな12歳がいるのだろう －世界の12歳調査隊－ 今の私を知ろう 衣、食、住、学校、遊びなど 世界の12歳の生活と比べよう 学校に行きたくても働かなければならない子 戦争で手足を失った子 ゴミの山で生計を立てる子 エイズにかかって苦しむ子 子ども兵士にさせられた子 など 学校に行けないわけを探ろう ビデオ視聴、関連書籍、インターネット 今の自分にできることは何かを考えよう！ 現地の様子を知る人から話を聞こう ユネスコ協会連盟職員 JICA青年海外協力隊員 「きらきら輝け12歳in中央」プロジェクト ユネスコ世界寺子屋運動 ・リーフレットづくり ・書き損じはがき回収大作戦 各自が取り組みたい活動を計画する ・共同募金活動 ・文房具回収活動 など 校内・保護者・地域の方々に世界中の子どもが幸せになれるよう関心をもち、行動できるよう呼びかける内容を考える ポスターセッション 世界の現状についての報告 助け合い募金の呼びかけ(主に校内) 本当にきらきら輝け12歳に向け、自分の生活を見直そう！ 地球が輝く私たちの未来 自分の生活を見直し変える提案(主に家族) 困っている人への援助の呼びかけ(主に地域) 今、わたしは、ぼくは 自分たちの思いや考えを伝え、共に活動する仲間の輪を広げる	④ いろいろな文字があることを知ろう ④ 気持ちとことば ④ 相手や目的に合わせて書こう ・ガイドブックを作ろう ・学級討論会をしよう ④ これっておかしいのかな？ <ICT活用> インターネットで情報収集 ④ 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう ・平和のとりでを築く ・自分の考えを発信しよう ④ 新しい日本、平和な日本へ <ICT活用> プレゼンテーション ④ ボランティアはだれのため ④ 今、わたしは、ぼくは (調べたことを知らせる) ④ 新しい日本、平和な日本へ ④ これが日本 ④ フーバーさん

E S D 公開授業

6 年 2 組 指導者 小島 佳奈子
場 所 教室

1 教科（領域）・単元名

総合的な学習の時間 「世界の 12 歳調査隊～世界の子どもたちは今！～」

2 単元の見 標

- ・自分たちにできるボランティア活動を通して、「自分たちの活動がどこかできつと役に立っている」と実感し、誰かのために行動する充実感を味わう。
- ・世界の子どもたちの生活を知ったり、ボランティア活動をしたりすることから、自分の生き方を見つめ直し、未来に向かってたくましく生きていこうとする態度をはぐくむ。

3 単元について



自分たちと同年代の世界の子どもたちの様子や生き方、環境について知ることは 6 年生の子どもたちにとっては、興味のある課題である。自分たちと比較しながら考えることができれば、学びの中で、「自分たちは何をしていかなければならないのか」「自分たちにできることは何か」を考え、実践へと気持ちが高まっていくであろう。また、本単元を通し、命の大切さを改めて感じることで、自己肯定感や自尊感情を高めてほしいと願う。

1 学期は、世界の 12 歳を「知る」活動を進めてきた。紛争や飢餓、児童労働など、想像を遙かに超える現状を知り、自分たちはいかに恵まれ、豊かな生活であるかを知る

教科・領域との関連

2 学期は、ゲストティーチャーなどを活用し、実感を伴った学習を進めていきたい。ボランティア活動の実践は、やり遂げた充実感を味わうことにつながるであろう。そして、自分自身の生活を見つめ直し、どう生きていったらいいかという「生き方」を考えていくことが、持続可能な社会をつくっていく力につながると考える。

4 本時の学習活動

(1) 本時のねらい

- ・自分の考えた「キャッチコピー」「ボディコピー」「画像」を紹介し合うことで、今後のリーフレットづくりに見通しをもち、意欲的に取り組む気持ちを高めることができる。

(2) 本時の展開

学習活動・予想される児童の反応	備 考
カンボジアに寺子屋をつくろう。 1 自分で考えた「キャッチコピー」「ボディコピー」「画像」について紹介する。 捨ててしまいそうな書きそんじはがきで子どもたちの命が救えるということを知ってもらいたいから、キャッチコピーは「はがき 1 枚で世界が変わる」にしたよ。 ボディコピーには、寺子屋運動や書きそんじはがきの説明を入れると、見る人にもどんな活動なのか分かってもらえんと思って考えてみたよ。 寺子屋で学ぶことができてうれしいと思っっている笑顔の写真を入れたいな。 2 グループで、自分の思いを伝え、よい点を伝え合ったり、アドバイスをし合ったりする。 ぱっと目を引く、分かりやすいキャッチコピーだね。 笑顔の写真だけでなく、学校に行けない子どもの様子も分かる写真も載せたらどうかな。 3 友達の考え方や取り組みについて、感じたことを書く。 4 リーフレットを通して伝えたい思いを振り返り、自分のレイアウトに工夫を加える。	<使用教材・資料> ・今までに作られた「世界寺子屋運動」推進リーフレット <外部機関との連携> ・日本ユネスコ協会連盟 <教師の支援> ・グループをまわり、どうしてそのような考えになったのかという思いも伝えるように助言をする。

活 動 内 容	教科・領域との関連
－きらきら輝け12歳－ 世界の12歳は今！ どんな12歳がいるのだろうー世界の12歳調査隊ー 今の私を知ろう 衣、食、住、学校、遊び など いろいろな文字が あることを知ろう 世界にはいろいろな文字があり、それによって得 る情報の大切さについての理解 世界の12歳の生活と 比べよう 学校に行きたくても働かなければならない子 戦争で手足を失った子 ゴミの山で生計を立てる子 エイズにかかって苦しむ子 子ども兵士にさせられた子 など 相手や目的に合わせて書こう ガイドブックを作ろう 学級討論会をしよう 気持ちとことば 学校に行けないわけを探ろう ビデオ視聴、関連書籍、インターネット これって、おかしいかな？ 今の自分にできることは何かを考えよう！ 現地の様子を知る人から 話を聞こう ユネスコ協会連盟職員 JICA青年海外協力隊員 新しい日本、平和な日本へ 「きらきら輝け12歳in中央」プロジェクト ユネスコ世界寺子屋運動 ・リーフレットづくり ・書き損じはがき回収大作戦 本時 各自が取り組みたい活動を計画する ・共同募金活動 ・文房具回収活動 など 校内・保護者・地域の方々に世界中の 子どもが幸せになれるよう関心をもち、 行動できるよう呼びかける内容を考える ポスターセッション 世界の現状についての報告 助け合い募金の呼びかけ(主に校内) ボランティアはだれのため？ 本当にきらきら輝け12歳に向け、自分の生活を見直そう！ 地球が輝く 私たちの未来 これが日本 フーバーさん 自分の生活を見直し変える提案(主に家族) 困っている人への援助の呼びかけ(主に地域) 新しい日本、平和な日本へ 今、わたしは、ぼくは 自分たちの思いや考えを伝え、共に活動す る仲間の輪を広げる	④ いろいろな文字があることを 知ろう ④ 気持ちとことば ④ 相手や目的に合わせて書こう ・ガイドブックを作ろう ・学級討論会をしよう ④ これっておかしいのかな？ <ICT活用> インターネットで情報収集 ④ 筆者の考えを受け止め、自分 の考えを伝えよう ・平和のとりでを築く ・自分の考えを発信しよう ④ 新しい日本、平和な日本へ <ICT活用> プレゼンテーション ④ ボランティアはだれのため ④ 今、わたしは、ぼくは (調べたことを知らせる) ④ 新しい日本、平和な日本へ ④ これが日本 ④ フーバーさん